

かごしま外国人材受入優良企業表彰 優秀賞をいただきました。

11月14日にアルテンハイム加世田面会室にて、鹿児島県の担当者が来園され令和6年度における『かごしま外国人材受入優良企業表彰』があり、野の花会が優秀賞をいただきました。

県では、県内の企業における外国人材受入体制の向上や外国人材の確保を促進するため、外国人材が働きやすい職場づくりに取り組んでいる企業等を表彰する「かごしま外国人材受入優良企業表彰」を実施しており、その中で今年11月時点で合計45名の外国人職員を受け入れ、様々な処遇や職場環境改善に取り組んでいる当法人の取り組みが評価された受賞となりました。



県担当者との面会（受賞の説明）

今回の受賞のポイントとしては、以下のような点が評価されました。

I 【外国人材の受入れに向けた職場づくりに取り組んでいる】

・外国人材の受入れに関する会社方針を全従業員へ周知

※法人内での責任者会議や職員会議で、現状の日本人材の確保が難しい理由とその背景、必要性について説明し、全従業員と情報を共有しています。

・受入れ・育成に関するマニュアルやガイドライン等を作成

・外国人材と直接接する日本人従業員に対し、コミュニケーションに関する研修（「やさしい日本語」や語学研修など）を実施

※専門の職員を雇用し、毎週定期的に語学や文化に関する授業を実施しています。

特に、細かいニュアンスが正確に伝わるように指導しています。さらに、地域貢献も兼ねて地元の企業に日本語講師を委託し、研修の質を高めています。

・外国人材の受入れに関して、専門知識を有する受入れ担当者（社員と兼任可）を常勤または非常勤で配置又は養成

・宗教や慣習の違いにより、就業時間中に配慮が必要なこと（例：礼拝や服装、禁忌事項等）の有無について、外国人材に確認するとともに、配慮が必要な場合には、他の従業員に理解・協力を促していることを実施

※勤務時間中であってもお祈りの時間を確保し、専用の場所を提供しています。また、断食期間中には夜勤をシフトから外し、キリスト教信者に対しては日曜日の礼拝を優先して休暇を提供しています。

・外国人材の受入れに向けた職場づくりに寄与すると思われる独自の取組や実績がある

※福祉用具や介護ロボットの導入と同様に、新しい取り組みに積極的に挑戦してきました。この姿勢が功を奏し、地域の先駆者としての役割を果たすことができました。

II 【外国人材が働きやすい職場づくりに継続的に取り組んでいる】



表 彰

・外国人材の技能向上に向けた動機づくりとなる昇給制度等がある

※外国人材に対しても、日本人職員と同様に人事考課制度を適用し、昇給や賞与を決定しています。さらに、N3の日本語能力試験を取得した際には手当を支給するなど、技能向上の意欲を高めるための制度を設けています。

・外国人材に対し、住宅の確保支援や、家具、寝具、自転車、日用品、生活用品等の提供、貸与など、生活面での支援の実施

※日本での生活をスムーズに始められるように補助金を活用し専用の寮を整備しました。さらに最低限の日常生活必需品を揃えています。また通勤に便利な自転車も提供しており、寮と職場の距離が遠い場合は電動自転車を貸与しています。このように生活面での支援を充実させることで、外国人材が安心して働ける環境を整えています。

・外国人材が働きやすい職場づくりに寄与すると思われる独自の取組や実績

III 【外国人材の育成に継続的に取り組んでいること】

・受け入れた外国人材に対し、日本語の学習の支援を実施

※各事業所の介護福祉士資格をもった職員が日本語学習を担当しています。さらに現在では地元の日本語学校に依頼して専門的な日本語教育を提供することで、外国人材の日本語能力向上に努めています。

・外国人材の技能の向上や、在留資格の範囲での多様な職務経験の提供など、キャリアの形成につながる取組を実施

※EPA 候補者には介護福祉士の資格取得を目指して支援を行い、技能実習生や特定技能実習生に対しては、日本語能力試験 N3 合格に向けた勉強会を開催しています。また介護ロボットや福祉用具の使用方法に関する勉強会を実施し、認知症への理解や対応についても学んでもらうことで、自立支援介護の技術習得を目指しています。

・外国人材が企業の中で指導的立場の役職に就いて活躍する

※EPA 介護福祉士候補生制度を通じて介護福祉士の資格を取得した 1 名の外国人材が、現在ユニットリーダーとして活躍しています。このように、外国人材が指導的立場で役職に就き、他の職員と協力しながら職場をリードすることで、企業全体の成長にも寄与しています。

- ・外国人材の育成に寄与すると思われる独自の取組や実績がある

※日本人職員向けに福祉用具や介護ロボットの使用方法、認知症ケアに関する研修を随時開催しています。また、介護コンテストや研究大会にも積極的に参加し、今年は宮崎での発表を予定しているなど、様々な場での自己研鑽の機会を提供しています。

IV【地域社会との共生に向けた取組を行っていること】

- ・外国人材が地域社会との交流を行う機会を提供

※地域のお祭りに参加してもらったり、おはら祭では着物を着てもらったりして、日本の文化に触れる機会を提供しています。

- ・地域社会での生活ルール（ゴミ出しの方法や交通マナー等）に関する研修を実施、または研修に参加する機会を提供し、外国人材と地域住民との円滑な関係構築の実施

※ゴミ出しの方法や交通マナーに関する徹底において、当初多くの課題がありましたが、母国語でのマニュアルを作成し配布することで解決しました。

- ・鹿児島の自然、歴史、文化等を学ぶ機会を提供

※地域の歴史を学びながらの散策や祭りへの参加を通じて、地元を好きになってもらう取り組みを実施しています。また、お正月や夏祭りには浴衣や着物を着てもらい、日本の文化に触れる機会を提供しています。これにより、外国人材が鹿児島の自然や歴史、文化を理解し、地域への愛着を深めることを目指しています。

- ・外国人材の地域定着に寄与すると思われる独自の取組や実績

※介護福祉士の資格取得を最優先とし、取得後は給与面での評価を通じて定着を促しています。そして、地元商工会や所属団体の永年勤続表彰にも積極的に応募し、外国人材の定着を支援しています。その結果として、介護福祉士資格を取得した4名中3名が当社に定着しています。



表彰状（優秀賞）



県担当者と撮影